

件名 元島英三 文学碑を訪ねて 6月28日(月) 門前町2丁目大歳神社境内

門前大歳神社境内には、その生涯の大半を岩国で過ごされた元島英三氏の文学碑があります。石碑の裏面には次の記述があります。

明治32年2月23日東京都本郷に生まれ 昭和59年3月8日岩国市牛野谷にて歿す  
児童文学 随筆 福祉更生保護 社会教育などに功績大 藍綬褒章などを受く  
昭和59年4月8日有志により文化碑を建立 氏の残した二句を刻む

- 人間なら 人間の顔で 暮らしたい — (表面)
- 子供が好き 散歩が好き 岩国が好き — (裏面)

大正14年発刊の有名な『小学国史物語・全四巻』は、全国の学校図書館で購読されるなど多くの著書があり、終戦後は夫人の郷里である岩国に移住し、福祉・更生保護事業など文芸活動以外の分野でも大きく貢献されました。

横山の菖蒲池そばには記念樹「元島桜」があるほか、地元愛宕小学校の校歌の作詞家でもあります。1番の歌詞

いま明けそめる 朝空の 門前川につづく海  
えのきの森に 小鳥ささやき 神もまもりて 輝く歴史  
ああ この学舎の しずかな歩み (作詞 元島英三 作曲 山口正明)



2021/06/30



2021/06/29



横山にある記念樹【元島桜】



2021/06/29



2021/06/29